

講演会

生物多様性の一端を 知る!聴く!語る! "絶滅危惧種 vs 特定外来生物"

日時：2015年2月1日（日） 午後1時～5時（12時半より受付開始）

参加費 無料<事前申込、先着50名>

場所：大阪府環境情報プラザ・研修室
大阪市東成区中道1丁目3-62

主催：NACS-J自然観察指導員大阪連絡会

共催：公益社団法人 大阪自然環境保全協会

国土交通省淀川管内 河川レンジャー 石山郁慧

協賛：大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」

後援：公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J)

- 1 今年、国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストで、「ニホンウナギ」が絶滅危惧種に指定された。乱獲が問題という報道が多く、漁獲制限だけで問題が解決できるのか、ウナギの生態を知るところから、減少を食い止めるためには、どうしたらいいのか？ 皆で考えるきっかけとしたい。
- 2 この数年、琵琶湖では、水草「オオバナミズキンバイ」（今年、特定外来生物に指定）が大繁殖し、人力の駆除では追いつかず、重機を投入するほど大問題となっている。そういったことから、いつ淀川に流れてきてもおかしくない状況である。最近の外来種問題含めて話を伺い、生物多様性とは？を考える。

プログラム

*講演（各70分。質疑応答等30分。）

- 1 テーマ「ウナギ 身近でおいしい絶滅危惧種」
講師 和歌山県立自然博物館 揖善継氏
- 2 テーマ「オオバナミズキンバイなど外来種の最近の話題」
講師 琵琶湖博物館/滋賀県環境保全課 中井克樹氏

申込み&問いあわせ 申込み（メールのみ）

件名「講演会参加」とし、
氏名（市、連絡先町村名まで）、あれば所属などを明記し、
メールでお申し込み下さい。

メール宛先 (NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会)

E-Mail bd@jinenjo.org



最寄り駅/JR環状線・森ノ宮駅
大阪市営地下鉄・中央または長堀鶴見緑地線・森ノ宮駅